

# 西 ～にし～

Good News

## ■八王子北高等学校「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」

令和6年2月18日（日）八王子市学園都市センター12階の第5セミナー室で、特定非営利活動（NPO）法人八王子国際協会主催の「児童・生徒のための国際理解教育ワークショップ」に本校探究部の生徒4人（1年生3人、3年生1人）が参加しました。

冒頭、八王子国際協会副理事長の鈴木宣行氏より八王子市の人口56万人に対して、およそ1.5万人の外国籍の方々が暮らしており、「八王子市に暮らしている日本人は相手を理解して、多文化共生へ一歩踏み出すことが大切だ。」という説明がありました。その後、4グループに生徒が分かれ、次のワークショップに臨みました。

### 【ワーク内容（原文まま）】

たけしさんとつよしさんは、同じクラスの、なかよしの友だちです。修学旅行に行き、二人で同じ部屋を使うことになりました。自由時間に、二人はおしゃべりをしながら、それぞれのおやつを出して食べることにしました。つよしさんは、自分もってきたチョコレート装箱から出していました。つよしさんは、トイレに行きたくなり、部屋から出ていきました。しばらくして、つよしさんがもどてくると、チョコレートが、すべてなくなっていました。つよしさんは、「ぼくのチョコレートは？」とたずねると、たけしさんは、「ぼくの好きなチョコレートだったので全部食べた」と言いました。

### 【質問】

たけしさんの行動について、あなたはどのように思いますか。また、それはなぜですか。

A 仲良しなので、ぜんぜん気にしない。（肯定的）、B 変な気持ちでしたが、友だちだから問題にしない。（やや肯定的）、C あまりいい気持ちではない。（やや否定的）、D ひど過ぎる。許せない。（否定的）

今回参加した児童・生徒の全体結果は、ABを合わせて50%、CDを合わせて50%でした。参考として、上越市の中学校では、ABを合わせて63%、CDを合わせて37%で、中国の中学校では、ABを合わせて81%、CDを合わせて19%と、日本と中国の中学生では結果に差が見られました。本校の生徒と教員合わせて6人の結果は、Aが1人、Bが3人、Cが1人、Dが1人となり、上越市の中学校とほぼ割合が同じでした。ある男子生徒は「多文化を理解するのは大切なことで、他人の考え方を認め、良い人間関係を築けるようになりたい」と感想を述べていたことが印象的でした。国や年代の違いがあっても当然で、相手の考えや価値観をお互い認めていくことが「多文化共生の第一歩」であるという大切なことを学んだ良い機会となりました。

（主任教諭・島村 和夫、副校長・友常 裕）



イベントポスター



ワークショップの様子

配信済みのGood Newsは、以下の掲示板から御覧になれます。

【令和5年度GoodNews】 【令和4年度特集号】 【令和4年度GoodNews】 【令和3年度GoodNews】